

中国経済の所得格差と解決

貴船鈴香

1. はじめに

今や経済大国になっている中国であるが、その中で格差はどのように広がっていくのだろうか。ここでは、中国の発展する経済とその裏側にある問題点について述べた上で、中国政府の解決策についても述べていきたい。

2. 中国経済が抱える問題点

2.1 成長に伴う課題

世界経済への不透明感が強まるなか、中国経済への注目度が一段と高まってきている。中国経済の成長が世界経済を牽引しているといわれるなかで、中国国内では外資系工場で賃上げを求める大規模なストライキが発生したりと、人々間の経済格差がますます広がっている。中国政府が人民元の為替水準を今後どのように引き上げていくかも重要な課題である。（日本経済新聞 2010/07/25）

2.2 中流層と下流層の所得格差

中国経済の急成長の背景には、経済構造の矛盾が深刻化している。中国経済の急成長の恩恵は、上海など沿岸部の大手国有企業や外資系企業に勤める中流層が手にしている。彼らの年収は50万～60万円が相場という。その一方で、工場労働者（その多くは出稼ぎ農民）の年収は5113元にすぎない。中流層と労働者、農民の所得格差はここ10年間に数倍から数十倍に拡大、断裂が生じた。（日本経済新聞 2010/06/28）

3. 中国政府の解決策

中国政府は長期的な経済発展に向けて、風力発電などの「新エネルギー産業」と新疆ウイグル自治区などの「内陸部開発」をけん引役に据える方針を打ち出した。新エネルギー向けの投資を新疆ウイグルなどで実施することは沿海部に比べて貧しい内陸部の経済を底上げする狙いがある。石炭や石油などの資源の沿海部への供給地にすぎなかった内陸部だが、中国政府は新疆ウイグルやチベットへの投資を増やすことで地域経済を活性化し、格差の縮小を図る。（日本経済新聞 2010/09/29）

4. おわりに

経済大国となった中国が抱える問題点に対し、政府が今後どのように対応していくのか興味深い。沿海部と内陸部の地域格差や中流層と下流層の所得格差など、中国には格差についての問題がたくさんあるが、経済成長が続く限り格差というものを解決するのは難しいと私は思う。

<参考文献リスト>

- 『日本経済新聞』 2010年06月28日
- 『日本経済新聞』 2010年07月25日
- 『日本経済新聞』 2010年09月29日